

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ポータブルパーティースピーカー			★お買い上げ日:	年	月	日
型番	ASP-W600N	品番	03-2169	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな						
	★お名前						
	★ご住所 〒						
電話 ()							
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

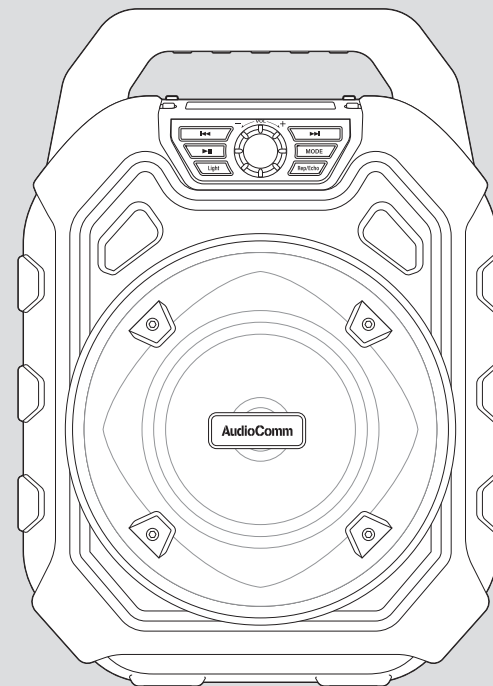
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

ポータブルパーティースピーカー

型番: ASP-W600N 品番: 03-2169



このたびは、AudioComm®ポータブルパーティースピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

免責事項	1	USBメモリーを再生する	11
充電式電池について	1	microSDカードを再生する	12
安全上のご注意	2~4	FMラジオを聴く	13
防水保護等級について	4	外部音声入力(AUX IN)を使う	14
Bluetoothについて	5	マイクの使いかた	15
USBメモリー・microSDカードについて	6	リピート/エコーボタンについて	15
各部の名称	6	故障かなと思ったら	16
充電のしかた	7	主な仕様	17
電源のオン/オフ	8	お手入れのしかた	18
モードの選択	8	保証書とアフターサービスについて	18
イルミネーションについて	8	保証書	裏表紙
Bluetoothで音楽などを再生する	9~10		

免責事項

下記の事項につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムイオン電池：本機に内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

危険 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



禁止

充電式電池(リチウムイオン電池)が液もれしたときは、素手で触らない

- 本製品には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



22cm以上離す

心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは、装着部位から22cm以上離す

- 電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



接触禁止

雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない

- 感電するおそれがあります。



使用を中止する

万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。



分解禁止

分解、修理、改造しない

- 火災・感電の原因となります。



禁止

航空機内や医療機器の近くで使わない

- 電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。

本機や充電コードの上に重いものをのせない

- 破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



禁止

充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

- コードが破損して火災・感電の原因となります。

付属の充電コード以外では充電しない

- 火災や感電、機器の故障の原因となります。

自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない

- 高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

火の中に入れていない

- 誤って火の中に入れると、充電式電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。

注意 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。



禁止

長時間、大音量で聴き続けない

- 聴力障害などの原因となることがあります。

浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所で使うときは、ポートカバーを確実に閉める

- 感電や故障の原因となります。

暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない

- 故障の原因となります。

充電コードを熱器具に近づけない

- コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

- 内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない

- 落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない

- 変形・変色の原因となります。

充電コードの端子を抜くときは、コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず端子部を持って抜いてください。



注意 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。



禁止

自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない

- 電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。

日本国以外では使用しない

- 本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売されたBluetooth機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
- 国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

防水保護等級について

本製品はJIS C 0920:2003(IEC 60529:2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX6」(耐水形：いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない)仕様となります。屋内・屋外の水のかかる場所でご使用いただけますが、以下の点に十分ご注意ください。

- 水中につけないでください(完全防水設計ではありません)。
- ポートカバーを確実に閉めてください。また、水分がポートカバー周辺や操作ボタン・ツマミに付着したら、使用後早めに拭き取ってください。
- USBメモリー装着時、マイク使用時、充電時はポートカバーを閉めることができません。従って、防水保護の対象外となります。
- 防水保護等級は常温・真水使用下での性能です。石けんの泡やオイルの付いた手で触らないでください。水分が浸入する可能性があります。
- ドライヤーで乾かささないでください。密閉部が変形する可能性があります。
- 充電端子部が濡れたまま、充電しないでください。感電したり、ショートするおそれがあります。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

Bluetoothについて

Bluetoothは比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内:Class2の場合)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

【バージョンとプロファイル】 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル: HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。

※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。

※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

【通信可能範囲】 本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

【機器認定について】 本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。

ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。



【セキュリティ】 本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

【使用周波数と注意事項】 本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

- ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

USBメモリー・microSDカードについて

本機で再生できるUSBメモリー・microSDカード

メディア	規格	容量	ファイル形式	ファイル・フォルダー構成
USBメモリー	USB Type-A (FAT、FAT32)	最大32GB	MP3 WMA WAV	最大ファイル数: 9,999 最大フォルダー数: 9,999
microSDカード	FAT、FAT32			

※上記に該当する場合でも、書き込み時の状況やUSBメモリー・microSDカードの質などにより、再生できない場合があります。

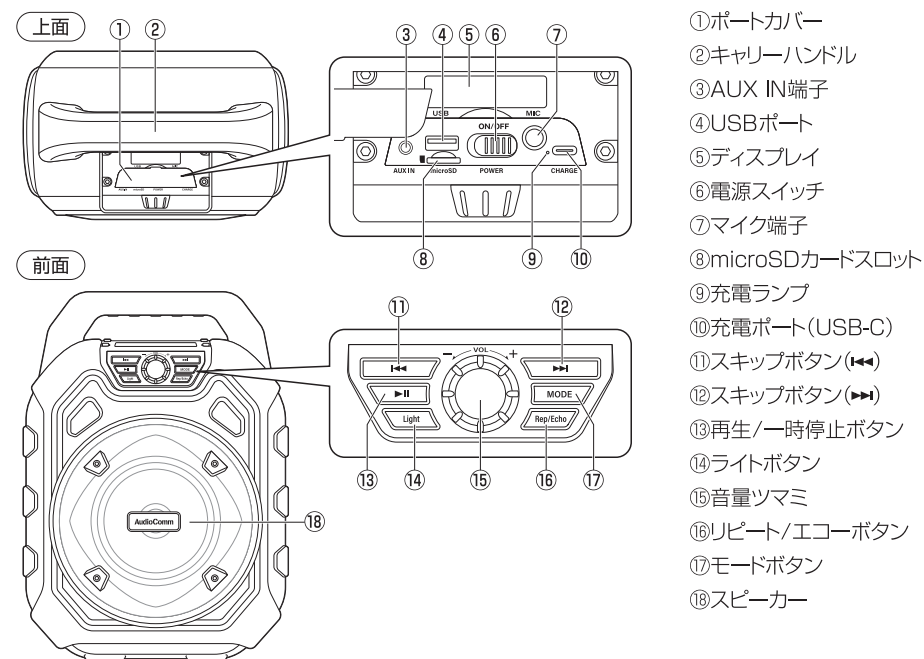
※ファイル・フォルダー構成は上記のとおりですが、本機はフォルダー階層を認識しません。

※データ量の大きいファイルが含まれていたり、フォルダー数・ファイル数が多い場合、読み込みや再生に時間がかかることがあります。

ご注意

- USBメモリーやmicroSDカードは、端子の向きなどを確認し、正しく装着してください。また、本機から取り外すときは、データの破損を防ぐため、事前に本機の電源を切るか、他のモードに移行してください。
- USBメモリーを差したまま本機を持ち運ばないでください。本機のUSBポートやUSBメモリー自体を破損するおそれがあります。
- 使い終わったら、必ず本機からメディアを取り外して保管してください。

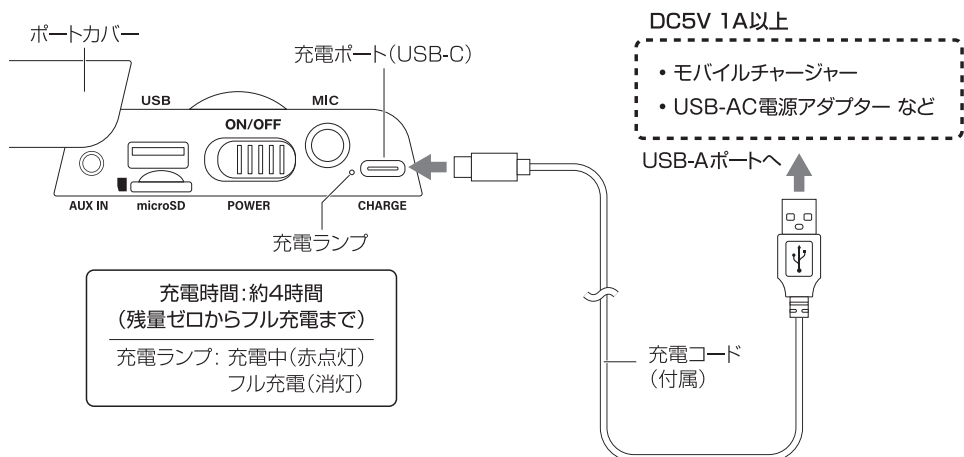
各部の名称



- 1 ポートカバー
- 2 キャリーハンドル
- 3 AUX IN端子
- 4 USBポート
- 5 ディスプレイ
- 6 電源スイッチ
- 7 マイク端子
- 8 microSDカードスロット
- 9 充電ランプ
- 10 充電ポート(USB-C)
- 11 スキップボタン(⏮)
- 12 スキップボタン(⏭)
- 13 再生/一時停止ボタン
- 14 ライトボタン
- 15 音量ツマミ
- 16 リピート/エコーボタン
- 17 モードボタン
- 18 スピーカー

充電のしかた

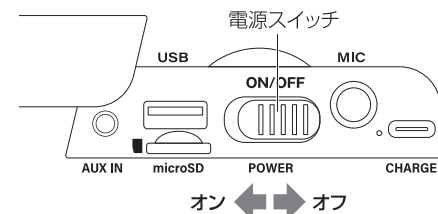
ポートカバーを開け、充電コード(付属)を使って図のように接続してください。充電が始まると充電ランプが赤く点灯し、完了すると消灯します。



ヒントとご注意

- 必ず付属の充電コードをお使いください。また、付属の充電コードは他の製品に使わないでください。
- 本機は充電しながら使用できます。
- USB-AC電源アダプター(DC5V 1A以上)は家庭用コンセントへつないでください。ただし、PD対応型のUSB-AC電源アダプター(充電器)はお使いになれません。
- 許容動作環境(温度: 0°C~45°C、湿度: 10~85%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していても、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合がありますが、何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 使用中に電池残量が少なくなると、ディスプレイに「」マークが点滅するようになります。そのまましばらくすると、「HI」と操作部のランプが点滅したり、再起動を繰り返すようになりますので、電源スイッチをオフにして、早めに充電し直してください。

電源のオン/オフ



電源オン

電源スイッチをON側にスライドさせると、電源が入ります。

- ディスプレイに「HI」と表示され、オープニングサウンドが流れた後、スピーカー部のイルミネーションが光ります。
- 電源が入っているときは、操作ボタンも青く点灯します。
- 電源を入れた直後はBluetoothモードになります。そのままBluetooth接続をするときは、P.9~10を参照して操作してください。

電源オフ

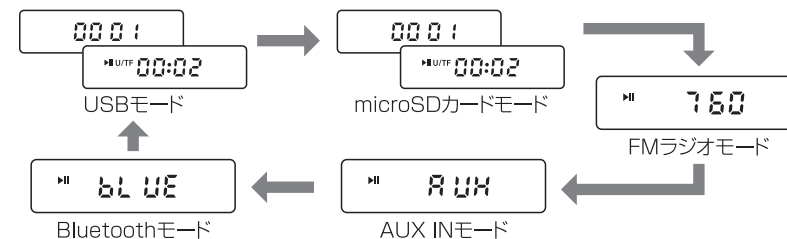
電源スイッチをOFF側にスライドさせると、電源が切れます。

モードの選択

MODE

モードボタンを押すたびに、モードを切り換えることができます。

- Bluetoothモード→USBモード→microSDカードモード→FMラジオモード→AUX INモードの順で切り換わります(USBとmicroSDカードはモード表示が同じです)。
- ただし、USBモード、microSDカードモード、AUX INモードは、メディア装着中(または端子接続中)のみ選択可能です。それ以外のときは表示されません。



イルミネーションについて

Light

ライトボタンを押すと、スピーカー部を照らすイルミネーションを切り換えることができます。

- 押すたびに、リズムモード(音楽などのリズムに合わせて変化)とブリーズモード(一定の間隔で変化)を切り換えます。
- ライトボタンを長押しすると、イルミネーションをオフにできます。もう一度長押しすると再点灯します。

Bluetoothで音楽などを再生する

離れた場所にあるBluetooth対応機器(スマートフォンやタブレット、Bluetooth対応音楽プレーヤーなど：相手側機器)の音楽をワイヤレスで聴くことができます。初めての機器とBluetooth接続するときは、必ずペアリング(本機と相手側機器を相互に初期登録する操作)してください。

ペアリングのしかた

- ペアリングするときは、相手側機器の電源が入っている状態で、本機と約1m以内(障害物なし)に近づけてください。
- 本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本機とのペアリングはできません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

1 本機の電源を入れます。

- 電源を入れた直後はBluetoothモードになり、電子音が鳴って「bLUE」が点滅します。「bLUE」が点滅しているときは、サーチモード(接続可能な機器を探している状態)であることを示します。

b L U E

2 相手側機器で本機を登録します。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone：[設定]→[Bluetooth]

Android：[設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「ASP-W600N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスワードやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※機器によってはご自身で設定されたパスワードが必要な場合があります。

ペアリングが完了すると…

電子音が流れた後、「bLUE」の点滅が点灯に変わり、本機を使用できる状態になります。相手側機器で再生などの操作をしてください。機器によっては、本機の再生/一時停止ボタンで、再生を始められる場合もあります。

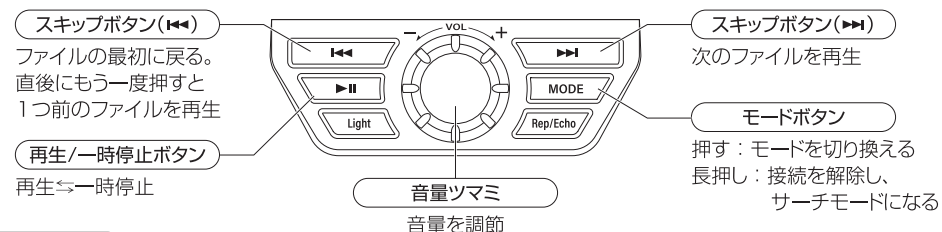
※再生開始前及び一時停止中は▶▶が点滅し、再生中は点灯します。

▶▶ b L U E

ヒントとご注意

- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth接続が可能な状態のときは、本機の電源を入れると、自動的に接続されます。ただし、機種によってはその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書などを参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないかを確認してください。その後、本機及び相手側機器の電源を入れ直して、正常に戻るか確認してください。それでも改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから操作をやり直してください。

再生に関する操作(Bluetoothモード時)



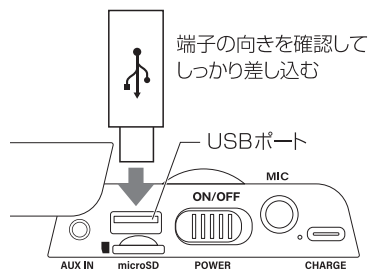
ヒントとご注意

- 一時停止中にスキップ操作をしたときは、再生/一時停止ボタンを押すと、再生を再開します。
- スマートフォンと接続中に電話の着信があると、再生が一時停止します。スマートフォン側で電話に出るなどの操作をしてください。通話を切ると再生を再開します。
- 相手側機器の機種や使用アプリによって、動作のしかたが異なっていたり、機能しないことがあります。

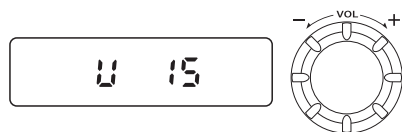
USBメモリーを再生する

再生可能なUSBメモリーの規格やファイル形式は、P.6をご参照ください。

- 電源を入れた後、USBポートにUSBメモリーを装着します。
 - 電源を入れる前に音量を抑えてください。
 - USBメモリーを差し込むと、自動的にUSBモードに切り換わり、読み込み動作の後、再生が始まります。



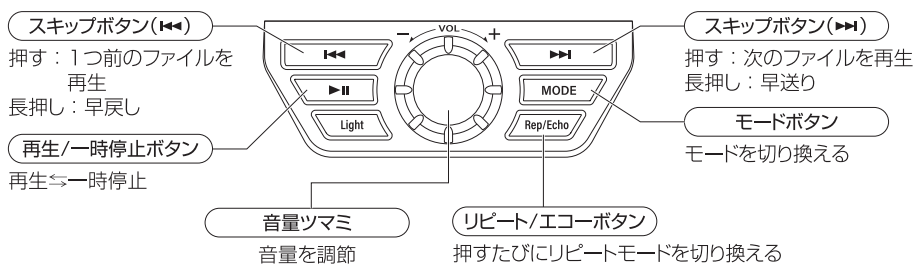
- 音量ツマミで音量を調節します。
 - ディスプレイに音量レベルが一時的に表示されます。
 - 音量の上げすぎにご注意ください。



- 再生/一時停止ボタンを押すと、再生が一時停止します。
 - 一時停止中は、ディスプレイの「▶||」が点滅します。
 - もう一度押すと、再生を再開します。

- 終了するときは、音量を絞ってから再生を一時停止させ、電源を切ります。
 - データを破損するおそれがありますので、USBメモリーを抜くときは、必ず事前に電源を切るか、他のモードに移行してください。

再生に関する操作(USBモード時)



ヒント

- 早送り、早戻しは、経過時間表示と断片的に流れる再生を聴きながら操作してください。
- リピート/エコーボタンの長押し操作については、P.15を参照してください。

シングルリピート：再生中のファイルを繰り返し再生



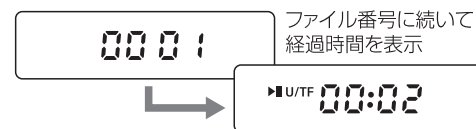
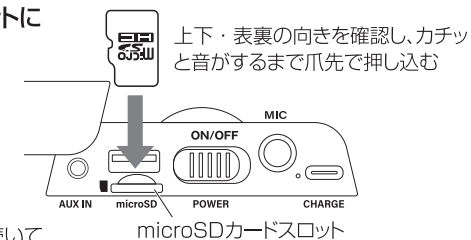
オールリピート：メディア内の全ファイルを繰り返し再生



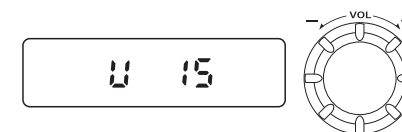
microSDカードを再生する

再生可能なmicroSDカードの規格やファイル形式は、P.6をご参照ください。

- 電源を入れた後、microSDカードスロットにmicroSDカードを装着します。
 - 電源を入れる前に音量を抑えてください。
 - microSDカードを正しく装着すると、自動的にmicroSDカードモードに切り換わり、読み込み動作の後、再生が始まります。



- 音量ツマミで音量を調節します。
 - ディスプレイに音量レベルが一時的に表示されます。
 - 音量の上げすぎにご注意ください。



- 再生/一時停止ボタンを押すと、再生が一時停止します。
 - 一時停止中はディスプレイの「▶||」が点滅します。
 - もう一度押すと、再生を再開します。

- 終了するときは、音量を絞ってから再生を一時停止させ、電源を切ります。
 - microSDカードを取り出すときは、カチッと音がするまで爪先でいったんカードを押し込み、出てきたカードをつまみ上げてください。
 - データを破損するおそれがありますので、microSDカードを抜くときは、必ず事前に電源を切るか、他のモードに移行してください。

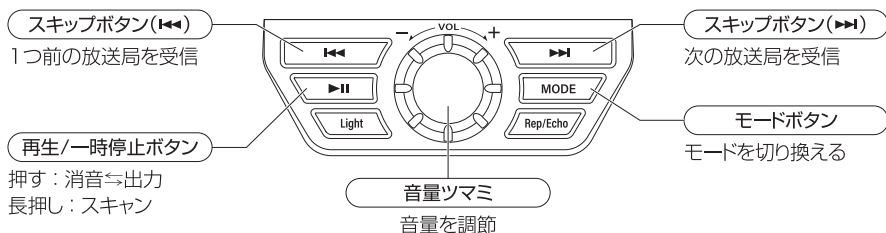
再生に関する操作(microSDカードモード時)

主なボタンの機能はUSBモードと同じです。P.11をご参照ください。

FMラジオを聴く

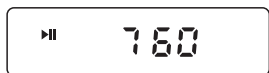
本機のラジオ機能はFM受信専用で、AM放送は受信できません。また、選局については個別に周波数を選ぶタイプではなく、メモリー登録方式(受信可能な放送局を一括スキャンし、選局する方式)となります。

ヒント ●屋内で使うときは窓際など、できるだけ電波状況の良い場所に置いてください。



1 電源を入れた後、FMラジオモードにして、再生/一時停止ボタンを長押しします。

- 電源を入れる前に音量を抑えてください。
- 再生/一時停止ボタンを長押しすると、スキャンしながら受信可能な放送局を登録していきます(放送局が見つかると、一時的に音声流れ、メモリー番号: P01から順に登録していきます)。
- スキャンが終わると、P01に登録された放送局を受信します。



小数点を省いたかたちで周波数が表示されます。

2 スキップボタン(◀◀/▶▶)でお聴きになりたい放送局を選びます。

- メモリー番号に続いて周波数が表示されます。



メモリー番号の表示例

周波数の表示例

3 音量ツマミで音量を調節します。

- ディスプレイに音量レベルが一時的に表示されます。
- 音量の上げすぎにご注意ください。



4 再生/一時停止ボタンを押すと、消音します。

- 消音中はディスプレイの「▶▶」が点滅します。
- もう一度押しすと、元に戻ります。

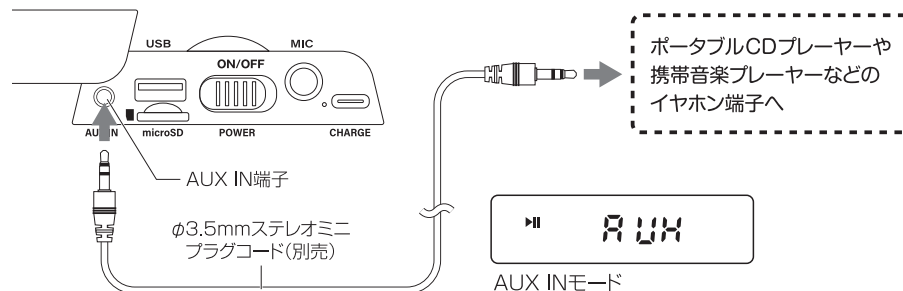
5 終了するときは、音量を絞ってから電源を切ります。

外部音声入力(AUX IN)を使う

ポータブルCDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなどの外部スピーカーとして使うことができます。

1 本機の電源を入れ、AUX IN端子と外部機器のイヤホン端子をφ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続します。

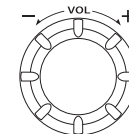
- 電源を入れる前に音量を抑えてください。
- 正しく接続すると、本機はAUX INモードになります。



2 外部機器側で再生などの操作をします。

3 音量ツマミで音量を調節します。

- ディスプレイに音量レベルが一時的に表示されます。
- 音量の上げすぎにご注意ください。
- 音量調節は外部機器と本機のどちらでも可能ですが、本機側を上げすぎると、他のモードに移行したときに、思わぬ大音量になることがありますので、バランスをとりながら調節してください。



4 再生/一時停止ボタンを押すと、消音します。

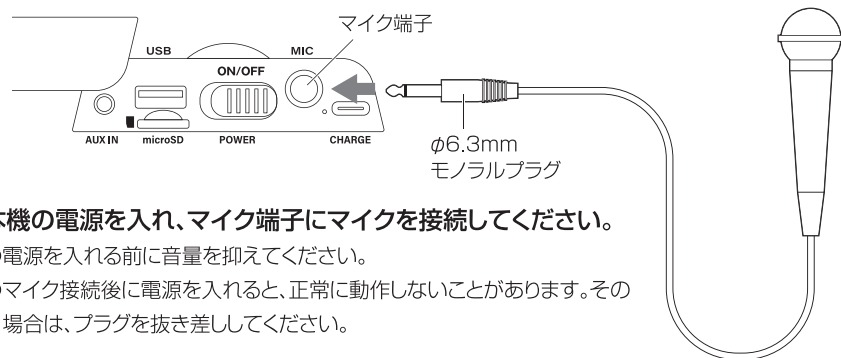
- 消音中はディスプレイの「▶▶」が点滅します。
- もう一度押しすと、元に戻ります。
- 消音から元に戻ったとき、音量が小さく抑えられることがあります。このようなときは音量ツマミを少し動かすと、元の音量に戻ります。

5 終了するときは、本機及び外部機器の音量を絞り、双方の電源を切ります。

- 双方の電源を切った後、接続を解除してください。

マイクの使いかた

市販のダイナミックタイプ(φ6.3mmモノラルプラグ)のマイクを接続して使うことができます。



- 1 **本機の電源を入れ、マイク端子にマイクを接続してください。**
 - 電源を入れる前に音量を抑えてください。
 - マイク接続後に電源を入れると、正常に動作しないことがあります。その場合は、プラグを抜き差ししてください。

- 2 **任意のモードで、カラオケなどを楽しむことができます。**
 - カラオケ音源に合わせてマイクで歌ってください。
 - 音源の再生を一時停止させた状態では、マイク単独で使うことができます。
 - マイク単独での音量調節はできません(音量ツマミは音源とマイクの音量を同時に調節します)。

- 3 **使い終わったら、音量を絞ってから本機の電源を切り、マイクのプラグを抜きます。**



マイク接続中は「MIC」が表示されます。

リピート/エコーボタンについて

リピート/エコーボタンは、USBモードとmicroSDカードモードでのリピートモード設定のほか、マイクのエコーレベルの調節ができます。

モード	短く押す	長押し(マイク接続時のみ有効)
Bluetooth	——	
USB	シングルリピート	
microSDカード	オールリピート	
FMラジオ	——	
AUX IN	——	

故障かなと思ったら

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチが正しくON側になっていますか。 ●充電池が消耗していませんか。
再生できない音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていますか。 ●モードが正しく選ばれていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●Bluetooth接続時： <ul style="list-style-type: none"> ・ペアリングしましたか。 ・相手側機器の音量が最小または消音になっていませんか。 ・相手側機器との接続が解除されていませんか。 ●USBメモリー / microSDカード時： <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの規格やファイル形式は本機の仕様に対応していますか。 ・本機対応外のファイルが含まれていたり、フォルダー数やファイル数が多すぎませんか ●外部機器接続時(AUX IN)： <ul style="list-style-type: none"> ・φ3.5mmステレオミニプラグコードが正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。 ・外部機器の電源は入っていますか。再生が停止または一時停止していませんか。
ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"> ●モードが正しく選ばれていますか。 ●相手側機器の電源は入っていますか。 ●相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。 ●相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れるノイズやエコー音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と相手側機器が10m以上離れていませんか。 ●本機と相手側機器の間に遮蔽物はありませんか。 ●周囲で無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
雑音が多い(ラジオ)	<ul style="list-style-type: none"> ●電波状態が良くない場所で使っていませんか。
USBメモリーやmicroSDカードを差し込めない	<ul style="list-style-type: none"> ●端子やカードの向きは正しいですか。
すぐに電源が切れる再起動を繰り返す	<ul style="list-style-type: none"> ●充電池が消耗している可能性があります。充電し直してください。

※症状全般にわたり、電源の入れ直しによって改善される場合がありますのでお試しください(システムリセット)。
 ※Bluetooth接続時に不具合が起きたときは、相手側の機器に原因があることも考えられます。相手側のBluetooth機器を単独で使用したときに、同様の症状が出るかどうかをご確認ください。

主な仕様

電源	DC5V 1A(USB-C給電)
内蔵バッテリー	充電式リチウムイオン電池(3.7V 3600mAh)
実用最大出力	15W
スピーカー	口径133mmスピーカー×1(2Ω)
SN比	≥80dB
再生周波数帯域	100Hz～20kHz
接続端子	USB-Cポート(給電)、USB-Aポート、microSDカードスロット、 AUX IN端子(φ3.5mmステレオミニジャック)、マイク端子(φ6.3mmモノラルジャック)
Bluetooth	通信方式：Bluetooth標準規格 Ver. 5.3 プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP コーデック：SBC 変調方式/周波数帯域：GFSK / 2.402～2.480GHz 最大通信距離：見通し 約10m(Class2)
USBメモリー	Type-A FAT・FAT32 最大32GB ファイル形式：MP3、WMA、WAV
microSDカード	FAT・FAT32 最大32GB ファイル形式：MP3、WMA、WAV
ラジオ	FM：76～108MHz(内蔵アンテナ)
充電時間	約4時間(残量ゼロからフル充電まで)
連続使用可能時間	約6.5時間(Bluetooth時)
防水保護等級	IPX6：耐水形(いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない)
許容動作温度/湿度	温度：0～45℃ 湿度：10～85%(結露なしにて)
外形寸法	幅246×高さ342×奥行156.5mm(突起物含まず)
質量	約1,774g
付属品	専用充電コード(USB-C/USB-A、コード長 約1.2m)、保証書付取扱説明書

※Bluetoothの最大通信距離、充電時間、連続使用可能時間は目安であり、使用状況により異なります。
※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標で、当社はライセンスに基づき使用しています。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けています。
※本書に使用している図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

お手入れのしかた

お手入れを始める前に必ず電源を切ってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。